

## 令和6年度 学校教育自己診断 分析

生徒回収率:都島工業(定)72.2%(26 件)、都島第二工業 75.0%(3 件)  
保護者回収率:都島工業(定)47.2%(17 件)都島第二工業 75.0%(3 件)

### 【学習指導】

#### 《学習全般・学習環境》

・「授業は、わかりやすく楽しい」(90%)、「教え方に工夫をしている先生が多い」100%、「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい」90%など、授業に関する質問項目について、肯定回答率は9割以上である。また、「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」は 100%、「安全で安心な学校生活を送れている」は 97%の肯定回答率であり、落ち着いた環境で学校生活を送れていると考えられる。

#### 《各種 HR や特別活動の充実》

・「将来の進路や生き方について考える機会がある」の項目について、生徒の肯定回答率は 93%、「お互いの違いを認め合い学校生活をおくっている」は同様に 93%、「文化祭は、楽しく行えるよう工夫されている」は 97%と進路指導や人権教育などのHR活動、また行事等についても、昨年度より肯定回答率が上がり、一層充実した学校生活を送れていると考えられる。

#### 《ICT 機器および1人1台端末の活用の充実》

・「ビデオ・スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある」の項目について、生徒の肯定回答率は 100%、「授業などでコンピュータやプロジェクターを活用している」は100%であり、授業におけるICT機器は十分活用されている。また、「学校は1人1台端末を効果的に活用している」の項目についても97%であり、効果的に活用できていると考えられる。

#### 《いじめ対応や教育相談体制の充実》

・「いじめについて(その他についても)生徒が困っていることがあれば対応してくれる」の質問項目について肯定回答率は生徒89%、保護者82%であり、生徒の困りごとについて、保護者からの相談をしっかりと受け止め、課題解決に向けて速やかに対応できるよう一層必要である。

・一方で、「担任以外の先生に気軽に相談できる」の項目について、生徒の肯定回答率は 90%、「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる」は100%であり、更に今後、教育相談等の体制を充実させるために SSW・SC等との連携を進め、生徒への積極的な声掛けなどを学校全体で取り組む。

### 【学校経営】

#### 《ホームページやSNS活用の取組》

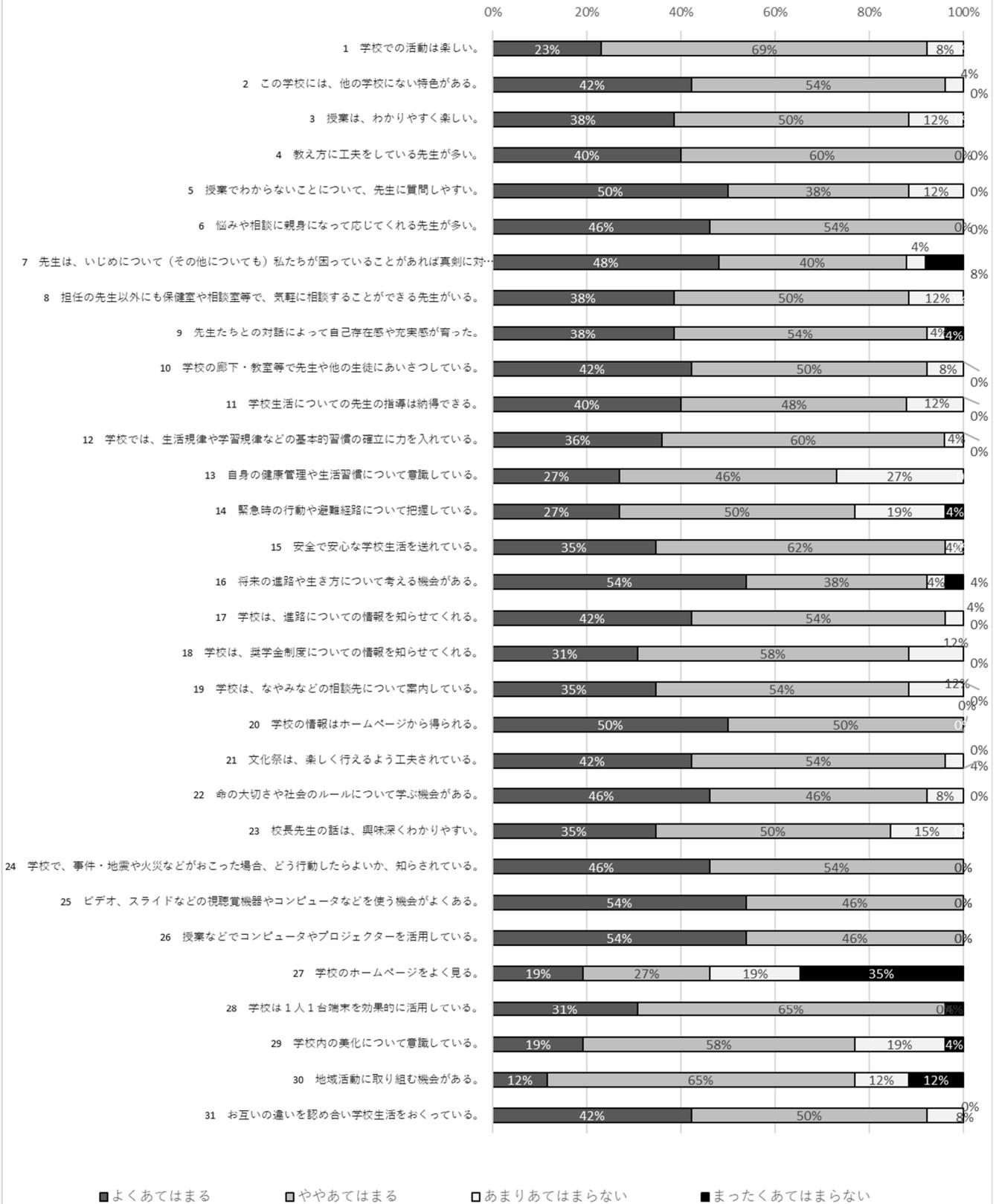
・「情報提供の手段として、学校のホームページが活用されている」の質問項目について、教員の肯定回答率が 96%と高いが、生徒・保護者ともに「学校のホームページをよく見る」の肯定回答率は 49%、42%である。学校 Web ページや SNS による情報提供については、今後、更新した際にメール等で、直接、保護者や生徒に案内を通知していく必要があると考えられる。

#### 《保護者との連携の充実》

・学校 Web ページからの情報発信に加え、主に生徒の様子が伝えられるよう SNS での発信に取り組んだ。一方で「学校は、教育情報について、提供の努力をしている」の項目について、保護者の肯定回答率は 69%、「学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている」は 67%であった。学校から配布された案内文書等が保護者まで伝わっていないことが予想される。前述の Web ページの取組と同様、メール、SNS との連携が急務であると考えられる。

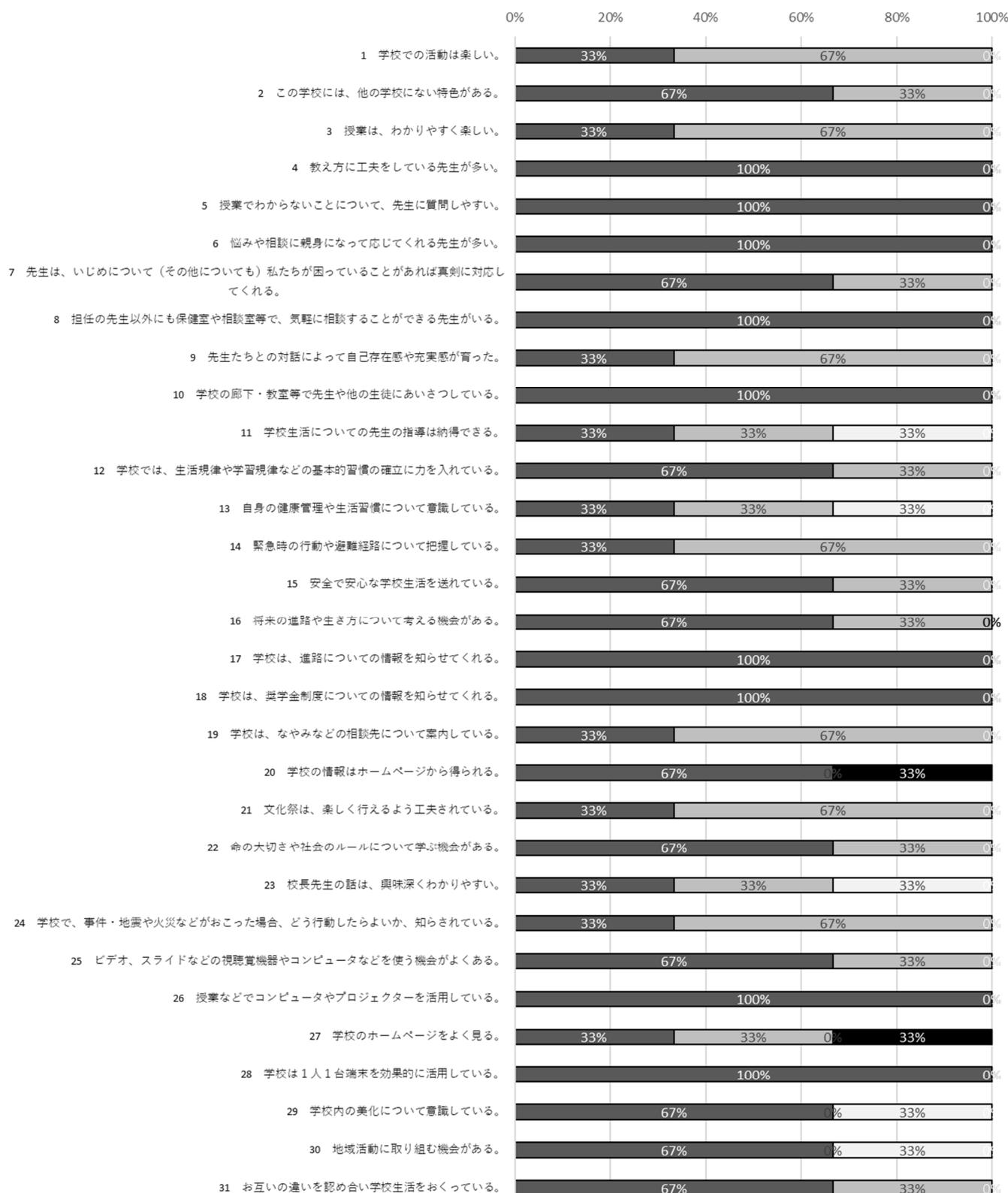
令和6年度 学校教育自己診断【生徒】：都島工業（定時制の課程）

36名中26名回答 回答率72.2%



# 令和6年度 学校教育自己診断【生徒】：都島第二工業

4名中3名回答 回答率75.0%



■よくあてはまる

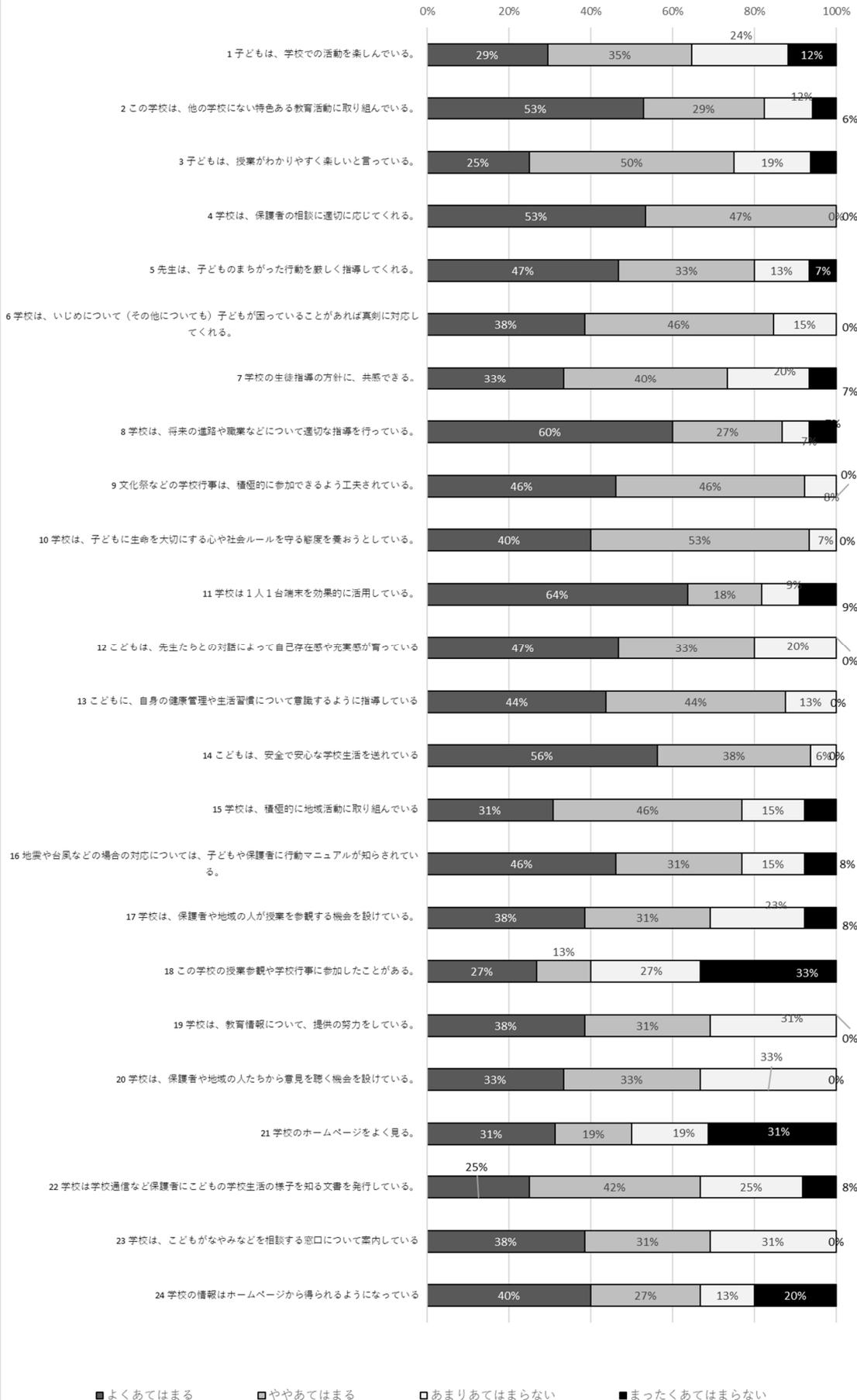
□ややあてはまる

□あまりあてはまらない

■まったくあてはまらない

令和6年度 学校教育自己診断【保護者】：都島工業（定時制の課程）

36名中17名回答 回答率47.2%



# 令和6年度 学校教育自己診断【保護者】：都島第二工業

4名中3名回答 回答率75.0%

